

## 新潟県立看護短期大学紀要執筆要項

- 1 主著者は原則として本学の専任教員、研究生とする。ただし、共著者についてはこの限りではない。
- 2 投稿する論文は和文若しくは英文で、未発表あるいは他誌に掲載予定のないものとする。
- 3 論文は、和文は400字詰原稿用紙50枚以内（タイトルページ、図表、文献すべてを含む。）、英文はA4版ダブルスペース30枚以内（タイトルページ、図表、文献すべてを含む。）とし、以下の順に並べること。
  - ・タイトルページ（1枚）
  - ・英文要旨（200語以内：1枚）
  - ・和文要旨（400字以内：1枚）
  - ・本文及び引用文献
  - ・図（写真）、表
 総説、研究報告（短報、報告、資料）もこれに準ずるものとする。  
 なお、枚数が超過する場合は、原稿1枚につき500円を徴収する。
- 4 タイトルページには、
  - ・論文の題名（和文及び英文で併記。）
  - ・欄外見出し（ランニングタイトル：25字以内）
  - ・著者名（和文及びローマ字で併記。）
  - ・所属（本学以外の著者名の右肩に番号を付け所属を示す。）
  - ・キーワード（日本語、英語で併記。5語以内）
 を記す。
- 5 和文論及び要旨は横書き、新かなづかいとし、句読点（，．）もマスとして数える。
  - ・ワープロを用いる場合はA4版に30×40で印字する。
  - ・外国人名、地名などはなるべく原綴を使用する。
  - ・度量衡の単位は原則としてSI単位の表記に従う。
  - ・欧米文字、数字は2字1マスとし、タイプまたは活字体で明記する。
  - ・英文論文はA4判用紙に全てダブルスペースで印字する。
- 6 文献・注の記載について
 

文献は引用文献のみとし、記載方法は以下に示すA若しくはBの方法によるものとする。  
 ただし、注を使用する場合の文献の記載方法は、Bの方式に従って、注と文献を別に記載すること。なお、発行年は西暦を使用する。

### A方式

本文中に引用順に肩番号を付け、文末に一括して記載する。

単行図書は、「著者名：書名，出版社名，発行都市，発行年．」の順

例：1）園田恭一：健康の理論と保健社会学，東大出版会，東京，1992.

2）Last, J. M. [Ed.]: A dictionary of epidemiology, Oxford University Press, New York, 1985

雑誌文献は、「著者名, 表現, 誌名, 巻 (号), 初ページ～終ページ, 発行年.」の順

例: 1) 恒川元行: 語幹の共通するドイツ語他動詞反義対についてー形態的・意味的分析ー, 千葉県立衛生短期大学紀要, 5(2), 49～58, 1987

2) Deniston, O. L., Rosenstock, I. M.: Evaluating health programs, public Health Reports, 85(9), 835～890, 1970

#### B方式

本文中若しくは注の文章中に引用順に著者名を挙げ、その後ろに ( ) 内に反転年を記載する。または、( ) 内に著者名、発行年、必要であれば引用ページを記載する。

文献は文末に一括してアルファベット順に記載する。肩番号は、注にのみ使用して、文献には使用しないこと。

例: Last, J. M. [Ed]: A dictionary of epidemiology, Oxford University Press, New York, 1985.

園田恭一: 健康の理論と保健社会学, 東大出版会, 東京, 1992

例: Deniston, O. L., Rosenstock, I. M.: Evaluating health programs, Public Health Reports, 85(9), 835～890, 1970.

恒川元行: 語幹の共通するドイツ語他動詞反義対についてー形態的・意味的分析ー, 千葉県立衛生短期大学紀要, 5(2), 49～58, 1987

著者名は3人までは全著者を、4人以上は3人までを記載し、「著者3名ほか(et al.)」とする。

誌名を省略するときは正式のものを使用する。

7 図(写真)、表は別紙に一つずつ作成し、図(写真)とは別に説明を付ける。表には題名を必ずつける。

・図(写真)、表の本文への挿入箇所・サイズを明確に指示する。

・図(写真)はそのまま製版できる明瞭・鮮明なものとし、原則としてカラーは採用しない。

・著者の希望により特別な図(写真)が必要なときは、実費負担とする。

・図(写真)、表は和文では原稿用紙1枚、英文では用紙1/2として計算する。

8 著者校正は2校までとし、校正の際の内容の追加・修正は原則として認めない。

9 別刷は30部まで無料とする。これを超える部数が必要な場合は著者の負担とし、タイトルページの上部に必要な部数を朱書きで明記する。

10 提出された論文は全て掲載するが、発行費用が予算額を超えた場合、超えた額については論文提出者全員の負担とする。(支払い方法は、研究費または自費とする)

11 論文の分類については、下記を参照すること。

総説(review) : 特定の題目について最近までの世界情勢などを紹介するもの

原著(original) : オリジナリティーのある論文

研究報告(report) : 研究報告には、短報・報告・資料を含むものとする。

特に、報告に含まれる「視察」に関する事項は正確に記載し、自分の遭遇したものと異なる事実の起こりうる可能性を考慮し、他の文献等との比較検討したものとする。